



## 報告

# ケアラーには、だれのどんな支援があったらいいのだろうか？

ケアラー支援フォーラム2018を開催しました。



### ●多様なケアラーの方の現状報告

2018年12月16日、東京都生協連会館(東京都中野区)にて、ケアラー支援フォーラム2018「ケアラーには、だれのどんな支援があったらいいのだろうか？」を開催しました。遠方からの参加者を含む約70名の参加があり、会場は熱気に包まれました。

フォーラムの前半は、シンポジウム「だれもわかってくれなかった ケアラーのわたし～多様なケアラーの経験から」と題し、20代で両親の介護を経験した元ヤングケアラーの方と精神障害のある家族と暮らす当事者の方から経験談と提言、また、松澤美さん(茨城キリスト教大学准教授)からは、医療的ケア児と家族の調査について発表していただきました。ヤングケアラー、精神障害の家族、医療的ケア児の家族と多様なケアラーの方の現状報告からは、共通の課題と固有の課題が浮かび上がりました。

### ●ケアラー支援の具体策を提案

次に、このシンポジウムを受けて「具体的ケアラー支援、あなたの提案」と題したワークショップを行いました。参加者全員がケアラー支援の具体策を提示し、それをそれぞれの項目に分類し、桜井純子さん(前世田谷区議)に解説していただきました。

一番多かったのは、「相談窓口の設置」で、「24時間365日」「訪問型」「ワンストップ」というキーワードが印象的でした。「教育・研修(人材育成)」についての提案も多く、実際の家庭を訪問して介護の現場を見る・知る機会をつくる「介護留学」制度などユニークな具体策が提案されました(2ページを参照)。

### ●これからの日本ケアラー連盟の活動

日本ケアラー連盟からは、「ケアラー支援政策メニュー」を発表しました。政策の主体を「国」「都道府県」「市区町村」レベルに分け、それぞれの取り組むべき支援政策の具体的な内容、既存の法制度の変更ポイントなどを掲載した「メニュー」です。これらのメニューを含めた冊子を今後作成します。

また、国際ケアラーズ支援組織連盟(IACO)の『Global State of Care Report(ケアの世界的状況レポート)』の一部の翻訳を配布しました(日本ケアラー連盟はIACOに加盟しています)。各国のケアラー政策について、法制面、就労支援、休養、経済面、年金、情報提供や研修といった分野に分けて解説したレポートに、参加者のみなさんも興味津々のご様子でした。フォーラム当日は2カ国の抜粋でしたが、今後、他国を加えてレポートの翻訳の完成版を



発表する予定です。

日本ケアラー連盟は、今年も当事者の方々の声に耳を傾け、よりよい支援を関係者のみなさまと考えつつ、国や自治体の法制度制定に向けて各方面に働きかけていきます。政策メニューはさらに精査していきますので、ご意見・ご提案などお寄せください。

### ■ケアラー支援の具体策

(フォーラム・ワークショップで出されたものの一部抜粋です)

#### 《相談窓口》

- ・24時間365日SOSの出せる相談窓口の設置。
- ・ホールファミリーアプローチによる総合相談支援窓口を地域につくる。
- ・地域包括支援センターと対になるケアラー支援センターを設置。
- ・当事者だけではなく家族も対象とした「訪問型の相談支援」が必要。
- ・ケアが必要な当事者がサービスにつながる段階でケアラーも当事者として相談支援の対象となる仕組みをつくる。

#### 《レスパイト》

ケアをしなくてもよい時間、期間を保障する。  
とっておきの支援策→ケアラーを週3～4晩、ぐっすり眠れる夜を提供するサービス。

#### 《地域・市民の支えあい・つながり(共感)》

- ・思いを同じくする(共感する)仲間を探し出す。これなくしてインフォーマルな活動は成り立たない。
- ・一人でない、「共に」と思える支援。
- ・「人と人をつなげること」MSWなどが相談に乗るはずなのにサービスが使えていない。SNSで検索する世の中だが、地域に少し頼れる人、理解してくれる人をつくる。

#### 《アセスメント》

- ・介護うつ病予防支援→ケアラーの心身のチェックを行える場所・人をつくる。ケアラー本人に気付いてもらうことが大切。

#### 《カフェ》

- ・ケアラーズカフェを身近な地域の中につくる。
- ・イギリスでは、ケアラーの人たちを集めてお茶会や話し合いを行っている。日本では、いまだにケアラーの人たちが自分のことを話すことができない環境にある。地域が主催する集まりをつくることでケアにつながるのではないかな。

#### 《教育・研修(人材育成)》

- ・「介護留学」実際の家庭を訪問して介護の現場を見る・知る機会。これから介護が始まるケアラーに介護の現場を知ってもらう。
- ・医療従事者にヤングケアラーの存在に気付いてもらうため、また、関わっているヤングケアラーの発言を増やせるように「質問の仕方」「聞き取りのポイント」「想像力をもって聞くことの大切さ」を知ってもらう。

#### 《経済的支援》

- ・家族介護者にも介護報酬を支払う。
- ・ケアラーカードを発行しサービスを割引。

#### 《ケアラーの認知向上》

- ・FMラジオで全国共通の番組。
- ・困りごとの見える化。社会全体で自分ごととしてイメージできるようになればケアラーへの理解が深まる。認知症の本人メッセージのようにケアラー本人たちの声を届けるムーブメントを。

## 薬師寺みちよ議員が「ケアラー」について質問 総理大臣が答弁しました

2019年3月5日。参議院予算委員会は大幅に遅れ、薬師寺議員の質問は、テレビ中継が終わった後、19時を過ぎてから行われました。

「ケアラーという言葉をご存知ですか？」

「彼らが置かれている状況をご理解いただいていますか？」

薬師寺議員からの問いに総理大臣から「ケアラー」についてその定義が述べられ、日本ケアラー連盟の調査報告書を引用してケアラーの実態について答弁がありました。薬師寺議員はさらに、ケアラーが介護をしている自覚がなく、「ケアをしている人を支える」ことを制度に組み込んでほしいこと、ヤングケアラーの実態や対策、障害者の家族の問題提起がありました。

厚労大臣、文科大臣からは、相談体制の充実や介護者が自分自身の人生を生きられるよう尽力する旨の答弁がありました。

また薬師寺議員は、厚労省作成の「家族介護者

### 障害児・者の親もケアラーです in名古屋

2019年3月3日、名古屋にて、シンポジウム「障害者家族のノーマライゼーションを考える～わたしたちはふつうに老いることができない～」を開催しました。

湯原悦子さん、田中智子さん、児玉真美さんがそれぞれの立場から、「介護することが当たり前」と思われがちな「障害者の親」の想い、現状、データなどを報告しました。

会場の空気がやや重くなり始めたタイミングで、石川貴憲さん(サクソ)と倉橋祐佳里さん(ピアノ)の素敵な演奏で、ブレイク。

その後、会場と登壇者のセッションを行いました。高齢者介護がイメージされがちな「ケアラー」ですが、障害児・者を育てる親もケアラーです。



## ケアする人をケアするために in 広島

ケアラー連盟代表理事 児玉真美



参議院議員薬師寺みちよ事務所 提供

支援マニュアル」を評価。「マニュアルをマニュアルに終わらせず法律にしてほしい」と要望。総理大臣からは、「まずは既存のサービスを活用することがレスパイト、支援につながる。本人に着目することも必要であり、対応が必要か研究したい」と答弁があり、さらに薬師寺議員が「さまざまな国で法律がある。日本には介護をする人の法律がない。ぜひ研究してほしい」「消費税があがるので介護者支援の財源に使用してほしい」等、要望しました。

総理大臣から、「ケアラー」の定義や実態が述べられたのは初めてで画期的なことです。薬師寺議員の「ぜひ法律を」との問いかけには、「研究をしたい」との前向きな答弁でした。

薬師寺議員、ケアラー支援の重要性を踏まえた質問をしていただき、ありがとうございました。



「わたしたちはふつうに老いることができない」というサブタイトルには、その切実な想いが込められています。シンポジウムでは、さまざまな角度からその想いが語られました。

遠方からの多くの方が参加してくださいました。ありがとうございました



2019年1月29日、第2回ケアラー支援講演会 in 広島「ケアする人をケアするために with 素人介護劇団はびねす座旗揚げ公演」を開催しました。吹雪にもかかわらず、県内外から115名の方にご来場いただきました。

はびねす座の公演テーマは、認知症の姑を介護する嫁の一日。嫁のストレス（風船）はどんどん膨らんで、最後には爆発してしまいます。私たち素人の演技に、会場から温かい笑いと拍手をいただき感激でした。

最初の講演では、児玉が障害のある子どもの母親としての体験を語り、海外の取り組みを紹介しつつ「ケアラー支援」の理念と概要をお話ししました。次に、広島市男性介護者の会連絡会世話人代表の戎世伊次さんが、男性介護者ならではの悩み、会を立ち上げた思いや活動について講演。家族介護者サポートネットワークはびねす代表の北川朝子さんは、お母さんの介護を機に研修や見学を経てカフェを立ち上げた経緯や、各種サロンや講座、ALL DAY 認知症カフェなど、多彩な取り組みを紹介。最後に、県立広島大学保健福祉学部人間福祉学科講師の手島洋先生が、「介護をする幸福生活」をどうしたら支えられるかをみんなで考える必要がある、と総括されました。

福知基弘県議会議員が来られ、後日県議会でケアラー支援、ヤングケアラー支援、障害児の親への支援について県の方針を質してくださいました。講演会を機に連盟会員になってくださった方々もいらっしゃいました。

みなさん、ありがとうございました!!



## 国会議員学習会を開催

2018年11月20日、衆議院第一議員会館にて、国会議員学習会「介護で失職した先にあるもの～ミッシングワーカーの現実～」を開催しました。

「ミッシングワーカーの現実」として、NHK名古屋放送局チーフプロデューサーの板垣淑子さんから、放送されたビデオを紹介していただきながら失職したケアラーの経済的損失などミッシングワーカーの厳しい現状についてお話いただきました。

また、厚生労働省老健局振興課長尾崎守正さんから、「家族介護支援マニュアル」に盛り込まれた介護者本人の人生の支援の総合的展開における4つの考え方についてお話いただきました。

国会議員、代理出席の秘書、一般の方々をご参加くださり、日本の介護者支援の現状を踏まえた質疑応答・意見交換が行われました。

## ヤングケアラー支援を考える～日本と英国の経験から～

ケアラー連盟理事 森田久美子

2019年2月17日、成蹊大学ブランディング事業との共催で、ヤングケアラー・若者ケアラーへの支援について考える「ヤングケアラーシンポジウム」が開催されました。当日は、好天にも恵まれ、65名の参加者が集いました。

第一部では、高次脳機能障害の母親、難病のきょうだい、精神疾患の母親をもつ若者3人が、ケア

を担った経験を話してくれました。3人の語りからは、自身がしていることをケアと認識しづらい状況に共通して置かれていることが伝わってきました。

第二部では、ヤングケアラー支援の先進地である英国で、ヤングケアラーの支援を積極的に行っているウィンチェスターヤングケアラーズの代表ベン・ホグビンさんと、学校コーディネーターのアリソン・クロスさんがヤングケアラー支援の実際を話してくださいました。

第三部では、成蹊大学の澁谷先生をファシリテーターに、パネルディスカッションが行われました。ベンさんからは、自らの経験を語った若者に、これからの一歩を創るものだとエールが送られました。

## 理事・会員の講演先は全国に広がっています

- 介護をしている人が「助けて」と言える社会を目指して(堀越栄子)  
2018年11月9日 沖縄県社会福祉協議会介護実習・普及センター
- ケアラーの実態と支援施策について(牧野史子)  
2018年12月1日 連合東京女性委員会
- ヤングケアラーってなんだろう?  
～家族のケアを担う子どもや若者～(青木由美恵)  
2018年12月6日 神奈川県青少年センター
- ケアラー支援講演会「支える人」を「支える」ために(堀越栄子)  
2018年12月26日 徳島県阿波市手をつなぐ育成会
- 介護離職をなくすためにできること(牧野史子)  
2019年1月26日 JAM 東京千葉
- 広げよう!ケアラー支援(中嶋圭子)  
2019年2月15日 小平生活者ネット政策集会
- 地域で介護者を支えよう  
～私たちができる支えあい・助けあい(牧野史子)  
2019年3月4日 神奈川県社会福祉協議会(民生委員)
- ケアラー支援法成立に向けた活動から(堀越栄子)  
2019年3月9日 小金井ほっとわあく

日本ケアラー連盟に寄付をいただきました(2017年度) ・五葉木輝正・児玉幸弘・澁谷智子・堀越栄子・山口麻衣・八巻恭平(敬称略)

## 《日本ケアラー連盟は、いっしょにケアラー支援の活動をする仲間を求めています》

日本ケアラー連盟は、ケアラー、ケアラーを気づかう人、ケアラーのかかえる問題を社会的に解決しようという志をもつ人びとが集い、ともに生きる社会をつくることをめざします。

### ●会員になるには

一般社団法人日本ケアラー連盟の目的および活動に賛同して下さる方(個人)は、どなたでも申し込みできます(会員は法的には「社員」と呼ばれます)。

《年会費》正会員(社員)：5,000円/年 \*総会の議決権があります。  
応援会員(個人)：1口 2,000円/年  
応援会員(団体)：1口 10,000円/年

《定款》 <https://carersjapan.jimdo.com/> 入会 /

《入会申込み》 FAX (またはEメール)でお申し込みください。

<https://carersjapan.jimdo.com/> 入会 /

\* FAX 番号、メールアドレスは用紙に記載してあります

### ●寄附するには

一般社団法人日本ケアラー連盟は、会費と寄附により運営されています。1口3,000円から、何口でもご寄附いただけます。

《寄附申込み》 FAX (またはEメール)でお申し込みください。

<https://carersjapan.jimdo.com/> 寄附のお願い /

\* FAX 番号は用紙に記載してあります

### 【会費・寄付金入金先】

郵便振替 口座番号：00100-9-789904

加入者名：一般社団法人日本ケアラー連盟

銀行振込 みずほ銀行新宿中央支店 口座番号：2958743

(普通)口座名：一般社団法人日本ケアラー連盟